

ショートコメント vol.339 (2024年10月18日)

テーマ：年度後半の訪日客消費は楽観できず
～24年の年間8兆円超えは為替動向次第か～

●訪日客消費の推移

24年7-9月の訪日外国人の消費額（1兆9480億円）が発表された（図表1）。

前年比では41.1%増、コロナ前の19年7-9月比でも64.8%の増加となった。これにより、1-9月の累計消費額は5.8兆円と、すでに前年の通年での消費額（5兆3065億円）を上回っている。

このペースで推移すれば、24年の通年での消費額は8兆円を超えるとの見方も出てきた。ただし、7-9月の状況を見ると、部分的には減速感が強まっているなど、楽観は許されない。

●7-9月の消費鈍化

24年7-9月は為替相場の大きな変化等を受け、訪日客消費の増勢に鈍化傾向がみられる。特に百貨店業界からは、円高の進行に伴い、免税売上の増勢に陰りがみられるとの声が相次いだ。

実際に7-9月の訪日客の動きについては、客数の悪化は限定的である一方、消費額の鈍化が目立つ（図表2）。ただ消費の鈍化については、直前の4-6月が好調すぎたことも事実であり、7-9月の水準も決して低いものではない。

とはいえ、24年の通年で8兆円を超えるためには、10-12月に2.2兆円に近い消費を達成する必要がある。これは四半期ベースで過去最高の水準である。

後で述べるとおり、地域によっては消費の鈍化が目立ち始めていることから、その達成は簡単なものではなく、先行きは楽観できないとみられる。

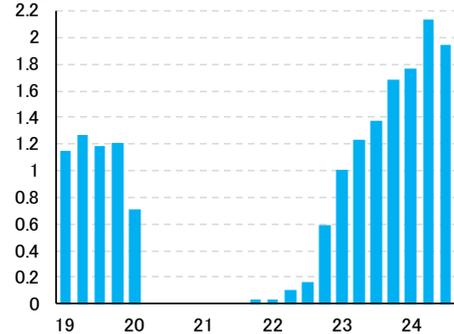
●地域別の状況

地域別にみると、米国と東南アジアで消費の減速感が強い（図表3、4）。

19年の各地域の四半期別消費（平均値）を100とし、直近までの推移をみると、この2つの地域で7-9月の減速が目立つ。このうち米国については、やはり円ドルレートの変化の影響が大きく出たと考えられよう。

その一方、東南アジアについてはもう少し前から減速が始まっている。これは為替の影響もさることながら、東南アジアと関係が深い、中国経済の停滞による影響が指摘できよう。中国経済の悪化による東南アジアの景気の鈍化が、旅行需要の停滞を招いて

【図表1】 訪日客消費の推移(全国)



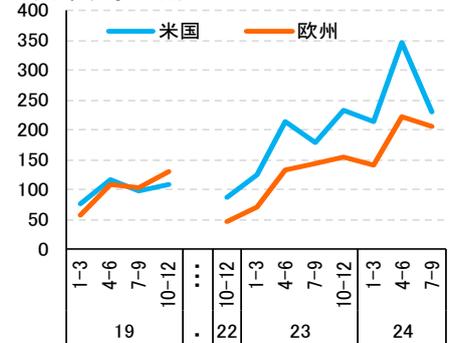
(出所)観光庁「訪日外国人客消費動向調査」

【図表2】 訪日客市場の推移(全国) (兆円)



(出所)観光庁「訪日外国人客消費動向調査」

【図表3】 訪日客の消費の推移(欧米)



(出所)観光庁「訪日外国人客消費動向調査」

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

いる可能性が高い。その場合は停滞が長引く恐れがあるため、先
行きには注意が必要となろう。

他方、図表 4 でアジアの動きを改めてみると、中国、韓香台は
右肩上がりの推移が継続している。為替の変化に関係なく堅調な
動きが続いており、まさにこうした動きが米国や東南アジアの悪
化を補い、直近の訪日客消費を支えているといえよう。

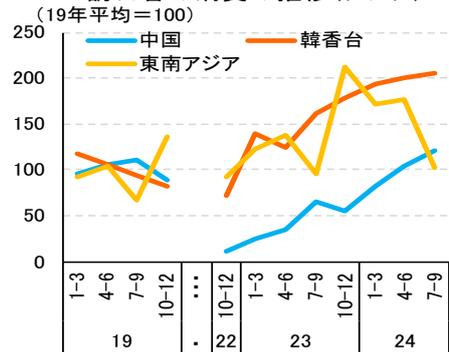
●今後の展望

今後の訪日客消費についても、基本的には為替の変動に左右さ
れる見込みである。足元の円ドルレートは、8 月以降、1 ドル 140
円台の推移が続いていたものの、ここへきて 150 円台をうかがう
動きがみられる。

米国の雇用情勢やインフレ率が予想を上回る推移となり、利下げの見通しが後退する中、為替相場では
ドル高の動きにつながっている。こうした動きは訪日客の消費にとって追い風となるが、基本的に先行き
は不透明感が強い。米国大統領選も近づく中、為替の推移は見通せず、訪日客消費についても楽観はでき
ない。

今後の推移として、仮に 1 ドル 140 円台前半、あるいはそれ以上の円高水準が続くことになれば、訪日
客消費の鈍化はやはり避けられない。その場合は通年で 8 兆円超えは難しいとみるべきであろう。

【図表 4】 訪日客の消費の推移 (アジア)



(出所) 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

本件照会先: 大阪本社 荒木秀之
TEL: 06-7668-8805 mail: hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。